

# 動物実験施設使用者が新型コロナウイルス感染症陽性と判定された場合 もしくは濃厚接触者に特定された場合の対応

(動物実験委員会申し合わせ事項)

発行日 2021年 3月 8日

2021年 3月 8日 動物実験委員会承認

2021年 3月 9日 スポーツ・健康科学部教授会報告

2021年 3月29日 感染症対策本部報告

## 1 予防措置

別紙1に定める通り、動物実験施設使用者は新型コロナウイルス感染症の感染が成立しないよう、十分な配慮に努めることとする。

## 2 動物実験施設使用者が新型コロナウイルス感染症陽性と判定された場合、もしくは濃厚接触者に特定された場合の対応

- (1) 原則として、公的機関および新型コロナウイルス感染症対策本部の指示に従って行動する。
- (2) 動物実験施設長および動物実験委員会は、(1)の指示に対して積極的に協力する。
- (3) 施設の管理運営については、別途3、4に定める。

## 3 施設の入館制限

### (1) 施設の入館禁止

次の①②のいずれかに該当する者は、施設入館禁止の対象とする。

- ① 新型コロナウイルス感染症と判定された者。
- ② 新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者に特定された者

### (2) 施設の入館制限

感染者および濃厚接触者が所属する研究室の責任者と施設の使用について協議する。  
当該研究室関係者の施設の立ち入りは最小限に止める。

### (3) その他の利用者

- ① 上記以外の研究室に所属する利用者に対しては、施設の入館制限を行わない。ただし、発熱等の風邪症状がある場合は、施設を使用することができない。
- ② 入退館時における手洗い、手指の消毒を徹底し、通常時と同様に、个人防护具（マスク・帽子・手袋・予防衣の着用）をとって動物実験施設に入室する。

### (4) 未登録者（学内者）

原則、施設の入館を停止する。学内教職員等が用務のため入室する場合は、動物実験施設長と事前調整を行う。

### (5) 納品業者等学外者

原則、施設の入館を停止する。納品や故障トラブル等の目的で来館する場合は、動物実験施設長と事前調整を行う。利用者持込機器類の設置やメンテナンスでの施設の立ち入りは、原則停止する。

#### 4 動物実験の実施

動物実験施設区域に加え、ドアノブ・スイッチ等の施設設備の消毒作業を行った後、以下に従って動物実験を実施することとする。

(1) 感染者および濃厚接触者が飼養した動物の取り扱いについて

- ① 実験動物に異常行動が見られた場合は、動物実験を中止し、その旨を動物実験施設長（研究推進室東松山分室）にただちに報告する。
- ② 動物実験施設長は、①の報告に基づいて、実験施設および動物の取り扱いを決する。
- ③ 上記①②の対応については、動物実験施設長の指示に基づいて研究推進室において対応記録を作成し、新型コロナウイルス感染症対策本部および動物実験委員会に適宜報告する。
- ④ 当該利用研究室における実験者の不足等により、実験の継続が困難となった場合は、実験の停止を含めた対応等について、当該研究室の責任者と協議する。

(2) 上記以外の実験動物の取り扱いについて

- ① 感染者等が確認されていない研究室が飼養する動物実験の継続については、動物実験施設長の指示に従う。
- ② 実験を継続する場合は、実験動物の管理に十分配慮し、異常行動が見られた場合には、上記(1)②～④と同様の対応を行う。

## 大東文化大学動物実験施設利用の際の新型コロナウイルス感染症対策について

(動物実験施設を使用する教職員および学生のみなさまへ)

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) は、人獣共通感染症である可能性があり、実験動物とヒトの間で感染が成立することが考えられます。このことから、動物実験施設を使用するにあたっては、以下の事項を遵守してください。

- 1 動物実験施設を使用する場合は、体調管理に努めてください。  
体調に異常 (37.5℃以上の発熱・咳・咽頭痛・倦怠感・呼吸異常・味覚異常・嗅覚異常など) がある場合は、動物実験施設を使用しないでください。
- 2 いわゆる「3密状態」を避ける必要がありますので、動物実験施設への入室は1組 (2名) のみとします。
- 3 入室にあたっては、入り口ドアに利用者氏名・時間・作業内容を記入したメモを貼付けして、作業中であることを他の利用者に知らせてください。また、施設内に利用者がある場合には、入室は控えてください。
- 4 実験実施にあたっては以下の点に留意してください。
  - ①白衣は清潔なものを使用すること。
  - ②入室前に手指洗浄および消毒を行うこと。
  - ③動物実験施設内では、マスクおよび手袋を着用し、実験後にも手指洗浄および消毒を行うこと。
  - ④短時間で作業を終えられるように計画的に実験を行うこと。
- 5 実験用に飼育している動物に異常行動などがみられる場合には、実験を中止し、ただちに研究推進室東松山分室 (内線: 6226) に連絡してください。実験中止後、手指洗浄および消毒を行ってください。

2021年度 3月 8日  
大東文化大学動物実験委員会